



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 株式会社 コロワイド

上場取引所 東

コード番号 7616 URL <http://www.colowide.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 蔵人 金男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 久松 寛

TEL 045-274-5970

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	50,198	△4.8	1,203	△4.0	718	34.8	△808	—
22年3月期第2四半期	52,727	△7.9	1,253	509.6	532	—	△990	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△11.78	—
22年3月期第2四半期	△17.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	82,113	22,679	25.1	193.50
22年3月期	87,665	24,094	25.1	211.20

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 20,600百万円 22年3月期 22,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,914	2.1	4,780	12.5	3,798	28.5	1,177	△20.8	13.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ― 社（社名 ）、 除外 ― 社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 75,284,041株 22年3月期 75,284,041株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 222,013株 22年3月期 220,406株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 75,063,034株 22年3月期2Q 59,470,656株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調を示しているものの、雇用情勢の不安定感に改善の兆しはみられず、円高による輸出の鈍化や欧米を中心とした海外経済の減速の影響により、先行きは依然不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、ファーストフードを中心として低価格業態に集客が偏る傾向が続いており、価格引き下げや値引きサービスが過熱する一段と厳しい環境となっております。

このような状況の中、当社グループでは積極的に新規出店を計画すると共に既存店の売上拡大対策を業態ごとに実施することで、グループ成長力の強化を図っております。

熾烈な低価格競争が展開されている居酒屋業態においては、新規出店及び来店頻度増加対策により来店客数の減少に歯止めがかかってきたものの、客単価低迷の傾向は依然として根強く、売上高の回復には至っておりません。しかしながら、郊外型レストラン業態においては、今夏の記録的猛暑などの外的要因はあるものの、テレビCMによるブランドイメージの定着化策や焼肉業態における食べ放題メニューの訴求、すし業態でのテイクアウト強化など業態毎の既存店売上拡大対策が功を奏し、グループ全体の売上高回復に貢献してきております。

コスト面につきましては、従来からの取り組みである食材アイテム数の絞込みと内製品比率の向上に加え、店舗配送便の物流改善が原価率の低減に貢献しております。人件費では店舗のワークスケジュールを電子化することで管理の強化・効率化を図るなど更なるコスト低減に取り組んでおります。また、販売促進費を中心とした販管費の効率を高める取り組みを継続的に実施し、営業利益率の向上を図っております。

尚、当第2四半期連結累計期間における店舗政策につきましては、25店舗の新規出店、22店舗の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は871店舗となっております。

以上のような施策を図ってまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、最近の事業環境を踏まえた出店基準の厳格化の影響もあり、新規出店数が第2四半期連結会計期間末時点で48店舗の計画に対し25店舗と遅れていること及び客単価低迷による既存店売上高の減少などの影響により、連結売上高は501億98百万円、連結営業利益は12億3百万円、連結経常利益は7億18百万円となりました。また、店舗リニューアル等に伴う固定資産除却損及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額などの計上により、連結四半期純損失は8億8百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ55億51百万円減少し、821億13百万円となりました。これは主に有形固定資産が26億69百万円増加したものの、現金及び預金が66億40百万円、売掛金6億47百万円及びのれんが5億41百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ41億37百万円減少し、594億33百万円となりました。これは主に短期借入金8億58百万円及び資産除去債務（流動負債及び固定負債）が9億60百万円増加したものの、長期借入金（1年内返済予定を含む）が40億24百万円及び未払法人税等が12億93百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14億14百万円減少し、226億79百万円となりました。これは主に連結四半期純損失8億8百万円及び配当金の支払5億32百万円により、利益剰余金が13億40百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが23億66百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△39億57百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△50億54百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ66億46百万円減少し47億40百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額があるものの、売上債権の減少や減価償却費及びのれん償却額の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入による収入があるものの、主に長期借入金の返済による支出及び社債の償還による支出によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年4月30日に開示いたしました通期の業績予想の数値から現時点での変更はございません。

今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性につきましては、当第2四半期連結累計期間における主な税務上の加減算項目を考慮し、前連結会計期間末の検討において使用した将来のタックス・プランニングを利用しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は11百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は635百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は960百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,956	11,597
売掛金	1,263	1,910
たな卸資産	2,723	2,702
その他	3,186	3,472
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,129	19,682
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	27,231	26,997
その他（純額）	12,217	9,782
有形固定資産合計	39,449	36,779
無形固定資産		
のれん	7,429	7,971
その他	1,079	927
無形固定資産合計	8,508	8,898
投資その他の資産		
敷金及び保証金	17,343	17,300
その他	4,845	5,192
貸倒引当金	△289	△303
投資その他の資産合計	21,898	22,189
固定資産合計	69,856	67,868
繰延資産	127	114
資産合計	82,113	87,665

（単位：百万円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,748	4,761
短期借入金	1,131	272
1年内返済予定の長期借入金	11,776	13,260
未払法人税等	412	1,706
引当金	460	494
その他	8,112	9,128
流動負債合計	26,642	29,623
固定負債		
社債	4,725	5,275
長期借入金	22,487	25,027
引当金	19	23
資産除去債務	935	—
その他	4,622	3,621
固定負債合計	32,791	33,947
負債合計	59,433	63,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,030	14,030
資本剰余金	5,739	5,739
利益剰余金	1,324	2,664
自己株式	△126	△126
株主資本合計	20,966	22,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△350	△257
繰延ヘッジ損益	△15	△40
評価・換算差額等合計	△366	△297
少数株主持分	2,079	2,084
純資産合計	22,679	24,094
負債純資産合計	82,113	87,665

（2）四半期連結損益計算書
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）
売上高	52,727	50,198
売上原価	16,741	15,781
売上総利益	35,986	34,417
販売費及び一般管理費	34,732	33,214
営業利益	1,253	1,203
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	6	9
不動産賃貸料	310	272
その他	81	65
営業外収益合計	417	368
営業外費用		
支払利息	648	531
社債利息	63	82
賃貸収入原価	231	204
その他	194	34
営業外費用合計	1,138	853
経常利益	532	718
特別利益		
固定資産売却益	6	11
関係会社株式売却益	625	—
受取保険金	—	17
貸倒引当金戻入額	—	13
その他	115	8
特別利益合計	746	50
特別損失		
固定資産除却損	721	131
減損損失	184	82
店舗閉鎖損失引当金繰入額	208	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	624
その他	501	156
特別損失合計	1,615	994
税金等調整前四半期純損失（△）	△336	△226
法人税、住民税及び事業税	656	340
法人税等調整額	△30	193
法人税等合計	625	534
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	—	△760
少数株主利益	29	48
四半期純損失（△）	△990	△808

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△336	△226
減価償却費	2,138	2,083
その他の償却額	179	157
のれん償却額	823	678
受取利息及び受取配当金	△25	△31
支払利息及び社債利息	712	613
固定資産除却損	721	131
固定資産売却損益 (△は益)	△6	7
減損損失	184	82
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	624
関係会社株式売却損益 (△は益)	△625	—
売上債権の増減額 (△は増加)	434	914
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37	△20
仕入債務の増減額 (△は減少)	△100	△12
その他	△550	△390
小計	3,513	4,612
利息及び配当金の受取額	12	17
利息の支払額	△716	△661
法人税等の支払額	△279	△1,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,529	2,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	34	—
有形固定資産の取得による支出	△2,101	△3,564
有形固定資産の売却による収入	74	91
敷金及び保証金の差入による支出	△212	△485
敷金及び保証金の回収による収入	770	390
子会社株式の売却による収入	940	—
その他	△367	△389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△860	△3,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,264	2,231
短期借入金の返済による支出	△3,312	△1,373
長期借入れによる収入	3,570	3,593
長期借入金の返済による支出	△7,876	△7,617
社債の発行による収入	734	1,468
社債の償還による支出	△681	△2,618
配当金の支払額	△368	△525
少数株主への配当金の支払額	△65	△48
その他	△104	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,838	△5,054
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,169	△6,646
現金及び現金同等物の期首残高	4,287	11,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,117	4,740

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。